

第 60 回「丸山」(960m)忘年山行

第 11 支部 (有)若林商店

理事 若林裕司

平成 24 年 12 月 16 日 快晴

平成24年を締めくくるにふさわしい晴天に恵まれ、山とお酒の好きな人たちが集まって忘年会を兼ねた、ハイキングに行ってきました。

今回は7名の参加で、場所は西武秩父の手前にある芦ヶ久保駅に朝9時丁度に着きました。天気予報では、気温が15度を超えるような天気になるといっていました。

なるほど秩父なのに霜が降りていませんでした。今日は、ここから歩きはじめてまたここへ戻る周回ルートで、帰りの電車時間までもう決まっています、準備体操もほどほどすぐ出発です。

スタート後しばらくは車道脇を歩きます。近くに採石工場があるせいかトラックが多く行き交います。約20分後、その車道とも別れ山道へ。トラックの喧嘩からも解放され、うっそうとした林の中を進みます。初めは緩やかだった上り坂も歩いて1時間くらいたった頃には急な坂が連続して続き、しばらくハイキングから遠ざかっていた鈍った身体には結構キツイ道のり。丸太の階段が続く急坂が終わったところが大野峠。時間は歩いて約2時間のAM10:50。

しばし東屋で休憩、実はここが丸山だと私は思っていたのです。乾さんがあと5分で出発ですのひと声で「え、まだ先なんだ」とガックリしてしまいました。今回はきつい忘年山行である。そう思いつつ、大野峠をスタートして約30分のAM11:30。前方にコンクリートでできた2階建ての建物が見えてきました。ここが丸山山頂。この建物は展望台のようです。

頂上に着くと、つよい北風が吹き荒れ始めました。とても外で昼食の酒盛りをするのは無理で急いで展望台の中へ移動しまして昼食の宴会が始まりました。本日のお品書は、久保田、八海山、ワイン、ウイスキー、と豊富に集まり全部飲み干すと野営するはめになりそうで、ほどほどにしておきました。

丸山を出発し、再び芦ヶ久保駅へ戻ります。下山道の途中にフルーツ狩りが楽しめる農園がちらほら見つかります。ビニールハウスの中には、真っ赤なイチゴが沢山実をつけていました。予定の時間より40分位はやく芦ヶ久保へ到着しました。

ここから飯能駅まで30分ぐらいかけてもどるのですが、さっき山の上で残っ

たお酒を電車の中で飲みつくし丁度よいかげんで、本日の忘年会会場に到着です。ここで忘年会だけ出席の4人も参加してやってメインイベントのスタートです。ここ次郎長寿司さんには、料理が食べきれないほど出して頂きいつも寿司は折詰にして持って帰るほど沢山です。

今回の山行は例年よりハードなコースで、私も宴会だけの参加にしておけばよかったかなと反省しております。お疲れ様でした。